

Governor's Monthly Letter

10
2014

国際ロータリー第2560地区 2014-2015年度「ガバナー月信」

Rotary  2014-2015
Rotary International District 2560

職業奉仕月間に寄せて

職業奉仕委員会 委員長 高橋 悟 (雪国魚沼 RC)

米山月間に寄せて

米山記念奨学委員会 委員長 安藤 幸夫 (新潟東 RC)

委員会報告

第1回ロータリー財団セミナーの報告

篠田 昇 (新発田 RC)

社会奉仕委員会会議報告

吉田 之人 (十日町 RC)

米山奨学生親睦交流会報告

品田 孝行 (柏崎 RC)

大學担当者向け米山奨学制度説明会報告

丹治芳子 (新潟万代 RC)

「アクトの日」報告

高橋 清文 (新潟 RC)

夏期・一年帰国報告会&受入学生オリエンテーション

横山 亘 (高田東 RC)

ガバナーエレクト GETS 報告

山本 和則 (新潟南 RC)

山本和則ガバナーエレクト事務所開所式

角南 邦彦 (新潟南 RC)

IM 報告

第4分区 IM 報告 菊池 渉 (三条 RC)

第5分区 IM 報告 南雲 博文 (長岡 RC)

クラブ紹介

第2分区クラブ紹介 新潟南ロータリークラブ

自クラブ紹介 栃尾ロータリークラブ

佐々木昌敏ガバナーメッセージ

職業奉仕月間に寄せて



国際ロータリー第2560地区
ガバナー 佐々木 昌敏

目次

1. 目次
2. ガバナーメッセージ 佐々木昌敏
3. 職業奉仕月間に寄せて 職業奉仕委員会 委員長 高橋 悟 (雪国魚沼 RC)
4. 米山月間に寄せて 米山記念奨学委員会 委員長 安藤 幸夫 (新潟東 RC)
5. 第1回ロータリー財団セミナーの報告
ロータリー財団委員会 副委員長 篠田 昇 (新発田 RC)
6. 社会奉仕委員会会議に参加して
社会奉仕委員会担当幹事 吉田 之人 (十日町 RC)
7. 2014年 米山奨学生親睦交流会 in 柏崎その1
米山奨学生・学友委員長 品田 孝行 (柏崎 RC)
8. 2014年 米山奨学生親睦交流会 in 柏崎その2
9. GETS を受講してきました ガバナーエレクト 山本 和則 (新潟南 RC)
10. 夏期・一年帰国報告会&受入学生オリエンテーション
青少年交換委員会 委員長 横山 亘 (高田東 RC)
11. 大學担当者向け米山奨学制度説明会
米山記念奨学委員会 奨学生選考委員会委員長 丹治芳子 (新潟万代 RC)
12. 山本和則ガバナーエレクト事務所開所式
2015-2016 年度地区幹事 角南 邦彦 (新潟南 RC)
13. 「アクトの日」報告 ローターアクト委員会 委員長 高橋 清文 (新潟 RC)
14. 第5分区 IM 開催のご報告その1 第5分区ガバナー補佐 南雲 博文 (長岡 RC)
15. 第5分区 IM 開催のご報告その2
16. 第4分区 IM 報告「ポール・ハリスが動いている！」
第4分区ガバナー補佐 菊池 渉 (三条 RC)
17. 第2分区クラブ紹介 新潟南ロータリークラブ
第2分区ガバナー補佐 藤田 普 (新潟南 RC)
18. クラブ紹介 栃尾ロータリークラブ 栃尾 RC クラブ会長 倉茂 眞衛 (栃尾 RC)
19. 『ロータリー公共イメージの推進』【コーディネーターニュース 10月号】
RI 第一ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 渡辺 敏彦 (新潟南 RC)
20. 新会員紹介
21. 文庫通信 325号
22. ハイライト米山 174-1
23. 174-2
24. 2013-2014年度 8月末会員数および出席報告

* PDF版では目次の各記事名をクリックする事で
該当のページへ直接移動します。
また各ページ下部の目次へをクリックする事で
このページまで戻る事が出来ます。



職業奉仕月間に寄せて

国際ロータリー第 2560 地区 2014-15 年度
ガバナー 佐々木 昌敏

みなさん こんにちは！

日頃は2560地区のため、ご活躍いただきまして、ほんとうにありがとうございます。心より感謝申し上げます。

私の年度方針が会員増強であることについては、各クラブにしっかりご理解いただき、十分な成果を挙げていただいていることに対し、深甚なる敬意を表する次第でございます。実りの秋10月は地区大会です。その頃には各クラブの目標を大旨達成してさわやかな笑顔でお会いいたしましょう。



さて、10月は職業奉仕月間であります。あらためて申しあげるまでもなく、我々ロータリアンは全て職業に就いております。その職業が天職であろうと、職業倫理に卓越した考え方があろうとなかろうと、自らの職業の繁栄、発展を求めながら日々研鑽いたしております。全てのロータリー活動は職業奉仕の土台の上にしか成り立たないのは当然のことです。

立派な社是があるからとか、「四つのテスト」を守って会社運営をすすめているからとか、一方的なことで職業奉仕が全うされることではないでしょう。我と我が命を懸けて職業奉仕に没頭しているのがロータリアンの日々だと思います。

字の上手いひとのそばにいと字がうまくなるといわれます。卓越した職業奉仕の力あるひとのそばにいと、立派な職業人になれると思います。職業人の多様性が育むロータリーの職業奉仕は、その香り、温かみを求めて、多くの人々が集まる。それは会員増強の原点であり、ロータリーの喜びだと思います。

それでは ごきげんよう。

職業奉仕月間に寄せて

国際ロータリー第 2560 地区職業奉仕委員長

高橋 悟（雪国魚沼 RC）

職業奉仕とはロータリー会員が自らの職業を通じて社会に奉仕する、というテーマに基づくものであり、今年度は職業奉仕委員会としてインターンシップへの積極的取り組みを会員の皆様にお伝えしていますが、いかがでしょうか。



10月が職業奉仕月間であり、ありがたいことに卓話の依頼も頂戴していますが、そもそもインターンシップに対してはすべての職業が合致するとは言いきりません。

しかしながら、その運用方法さえ明確になれば現状を大きく上回る活用が可能であると思われ、先日配布させていただきましたCDに記載されていることを自らの職業に当てはめてご利用いただければ比較的容易に取り組めるのではないのでしょうか。

職業を通じて社会に奉仕するということは、まず自らの職業に対する社会的意義と誇りを明確にし、事業として継続的に未来志向を絶さないことではないのでしょうか。その一つとして新規雇用も重要な課題と考えます。

単に経営者自らが制度の理解と運用を行うのではなく、企業内に展開することで企業理念の厚みが増すという効果も期待できます。

新潟県内高等学校においては、一部を除いてようやく取り組みの端に着いたところで、今後のロータリークラブの取り組みが注目されるところです。

是非ともインターンシップに取り組み戴き、未来を語る時間を学生と共に過ごしてみませんか。



米山月間に寄せて

国際ロータリー第2560地区米山記念奨学委員会
委員長 安藤 幸夫（新潟東RC）

「大陸での戦火拡大と、対米関係の悪化に伴い、日本のロータリーに対する攻撃は一段と激しくなった。クラブの例会に憲兵や特高がしばしば臨席し、そこでのスピーチもあらかじめ警察に届けなければならなくなった。新聞紙上でも、一部では『米国のスパイ』呼ばわりされたうえ『解散すべし』と指弾される始末であった。

世情の圧力はロータリアンの力ではすでに支えきれないところまで来ていた。東京RCも遂に1940年9月11日の例会で解散を決議し、創立者の米山梅吉氏は重い足を引きずるようにして壇上に立ち『奉仕の理想はあくまでも堅持したい』と最後の挨拶をした。東京RCが誕生してちょうど20年がたった。」（東京RCホームページより）

解散から9年後の1949年に日本ロータリーは国際ロータリーに復帰するのですが、その光景を見ることなく3年前の1946年、米山梅吉氏は失意のまま逝去されました。

1952年東京RCが奨学事業の立案をし、古沢文作氏の「米山基金」の試案のもと、1953年に募金が始まりました。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい、という当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」（ロータリー米山記念奨学会史より）

この文面は、米山記念奨学事業の立ち上げを知らずして亡くなられた米山梅吉氏の直筆でないのは当然ですが、その想いはまさに彼のそれを代弁するものであったと思います。

一方、昨今の中国、韓国との政治的な軋轢や、反目しあう国民感情から彼の国の留学生に援助の手を差し伸べるのはいかなるものか。この事業も60年を経過して見直す曲がり角に来ているのではないかと等しいロータリアンの声を聞く機会がとみに多くなりました。私をはじめ2560地区の米山奨学委員会のメンバーともそれについて真剣に話し合ったり、迷ったことがありました。米山梅吉記念館を訪れたのはちょうどその頃だったと記憶しております。

静岡県は三島の地で思ったのは、今ここに米山梅吉氏がおられたらどう考えられるだろうか。原点に戻って見つめなおしてみよう、ということでした。

「国家間の政治的な問題は今に始まったことではなく、今後ともついてまわるだろう。そんな状況下だからこそ、今まさにこの奨学事業は必要であり、今後とも進化させながら継続して行って欲しい。見直す曲がり角などでは決してないと思う」との米山梅吉氏の声が聞こえて来たような気がしました。

一人でも多くのロータリアンと米山奨学事業についてゆっくり語り合える月間にできたら幸いです。

第 1 回ロータリー財団セミナーの報告

国際ロータリー第 2560 地区ロータリー財団委員会 副委員長
篠田 昇（新発田 RC）

日時： 2014 年 8 月 23 日（土）13：00～16：00 会場： ANA クラウンプラザホテル

出席要請者：クラブ会長及びロータリー財団委員長（欠席の場合、幹事、次期会長）

①あいさつ 佐々木ガバナー（小千谷 RC）／渡辺ロータリー財団委員長（新潟南 RC）

②セッション第一部（委員長報告）

1. 地区補助金事業の報告・・・・・・・・・・田村補助金委員長（新潟西 RC）
2. グローバル補助金事業の報告・・・・・・・・和田グローバル補助金委員長（長岡東 RC）
3. 地区奨学生事業の報告・・・・・・・・・・中村奨学金委員長（新発田城南 RC）
4. 学友会の報告・・・・・・・・・・相田 V T T 委員長（長岡西 RC）
5. ポリオプラスの現状・・・・・・・・・・野沢ポリオプラス委員長（新潟北 RC）
6. 財団寄付目標の確認・・・・・・・・・・後藤寄付・資金委員長（新潟南 RC）
7. 山崎年度地区補助金事業の監査結果の報告・・・篠田財団副委員長（新発田 RC）

③セッション第二部

8. 地区補助金支給承認通知書授与・・・・・・・・承認された 12RC に通知書授与
9. 表彰

(1)山崎年度 寄付総計・上位 5 クラブ表彰

1 位・小千谷 RC / 2 位・三条 RC / 3 位・三条北 RC / 4 位・新発田 RC / 5 位・新潟南 RC

(2) 山崎年度 年次基金・一人あたり・上位 5 クラブ表彰

1 位・小千谷 RC / 2 位・三条 RC / 3 位・村上 RC / 4 位・中条 RC / 5 位・分水 RC

(3) 寄付増進事例発表：小千谷 RC（関 暁氏）／三条 RC（高橋 司氏）

10. 地区補助金事業、グローバル補助金事業事例発表

(1)山崎年度・地区補助金事業「手を差しのべよう」発表；中条胎内 RC（林 保英氏）

(2)佐々木年度・地区補助金事業「地域子育て支援」発表；中条 RC（威本 正之氏）

(3) 山崎年度・グローバル補助金事業発表；新発田 RC（石井 政治氏）

「タイ・チェンマイ県における人工透析器寄贈及び疾病予防プロジェクト」

(4)2014 年派遣地区奨学生決意表明：

小林 佳乃子さん「イギリスへ語学留学」（スポンサー 新潟南 RC）

11. 閉会の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・篠田財団副委員長（新発田 RC）

※山崎年度に実施された事業、佐々木年度に実施される事業を報告し、山本年度に実施する事業計画の準備を要請した。また、今年度の年次基金目標 1 人 \$ 100 以上（努力目標 \$ 150）、ポリオプラス 1 人 \$ 10 以上の寄付を要請した。更に、事業推進にあたっては、「地区補助金とグローバル補助金 授与と受託の条件」「第 2560 地区の地区補助金要項」「第 2560 地区奨学金要覧」を遵守するよう要請した。



社会奉仕委員会会議に参加して

国際ロータリー第 2560 地区社会奉仕委員会担当幹事
吉田 之人（十日町 RC）

佐々木ガバナー年度がスタートし、地区社会奉仕委員会が8月25日・JA越後小千谷「グリーンパーク」にて行われました。出席者は、佐々木ガバナーをはじめとする地区役員、地区社会奉仕委員会スタッフ、各RCの社会奉仕委員長の合計50名の方から参加いただきました。

議題として村山地区社会奉仕委員長が打ち出した下記の4つの項目について、議事が進行されました。

- ① 地域社会に対し、ロータリーとして地域の要求する情報を集め、それらをベースに奉仕のありようを検討する。
- ② 地域社会の諸団体あるいは、リーダー的立場にある人々と密接な関係を取りながら、ロータリーの奉仕活動が一般の人に理解されるように広報活動を行う。
- ③ ロータリー地域協働NWセンター他、ロータリーが提唱するグループとの連携をはかり協力体制を整える。
- ④ 地区補助金の有効活用、地域社会との連携、広報活動については、村山委員長より、ロータリー地域協働NW他との連携については、鈴木重吉パストガバナーより、地区補助金有効活用については、ロータリー財団委員長 田村修君より、各々説明があり、最後に質疑応答、補足説明等がありました。補助金については、継続事業という文言を外して申請すれば、補助可能な場合もあるという事など、有意義なアドバイス等も頂きました。

半期ごとに社会奉仕活動(事業)が完了したクラブは、前期は11月20日、後期は5月20日をめどにクラブの実績報告を頂き、委員会の方で集約して配信する予定となりました。

大勢の参加で有意義な会議となりました。参加されました各クラブの委員長の皆様ありがとうございました。



2014 年米山奨学生親睦交流会 in 柏崎

国際ロータリー第 2560 地区米山記念奨学委員会
奨学生・学友委員長 品田孝行（柏崎 RC）

去る8月30日(土)、柏崎に於いて米山奨学生親睦交流会を開催しました。

当日の天気予報は、終日雨模様ということでしたが佐々木ガバナー、植木米山記念奨学会理事（パストガバナー）、詹（セン）学友会会長、奨学生、カウンセラー、はじめ米山奨学生委員会等49名皆様の精進のお蔭で一日天気に恵まれました。

今回は、柏崎に昨年(H25年)9月に開館しました「ドナルド・キーンセンター柏崎」、松雲山荘内にある「木村茶道美術館」そして、原酒造(株)さんの3つの日本の文化など見学したり体験する親睦交流会です。

最初に向かった「ドナルド・キーンセンター柏崎」は、公益財団法人ブルボン吉田記念財団が運営する施設です。

ドナルド・キーンさんは、元アメリカ人で1940年18歳の時、アーサー・ウェーリー訳の「源氏物語」に出会いその世界に感動し川端康成、谷崎潤一郎、三島由紀夫等々日本文学者との関わりを通して日本文学や文化を研究し世界に伝えてきました。

平成23年、東日本大震災で被害を受けた方々が懸命に生きる日本人の姿に「今こそ私は、日本人になりたい。」「この人々と共に生き、共に死にたい」と日本での永住を決意し、平成24年3月に日本国籍を取得されました。この施設では、3班に別れ1時間半にわたり説明を受けました。初めてドナルド・キーンさんを知った方も多かったのではないのでしょうか。文学の好きな方は、時間が足りなかったかもしれません。

ちなみに、この日の午後に訪れた「新発田源氏物語愛読の会」21名の皆様が、開館以来6000人目となり新聞に報道されていました。ちょっとの差で残念でした。

食事後、紅葉で有名な松雲山荘庭園内にある「木村茶道美術館」で茶道を2班に別れ体験しました。詹学友会会長は、茶道の先生でもありお手本を披露したりご指導したり活躍しておりました。この茶道美術館は、由緒ある器、高名な器でお茶が頂ける全国でも有名な茶道館です。

是非、皆様も足を運んでお茶を楽しまれてはいかがでしょうか。



最後は、原酒造(株)さんの蔵を軽快かつ分かりやすい説明を聞きながら見学し酒彩館では、試飲コーナーがあり各銘柄のお酒を試飲することができました。ここでは、田中角栄さんが、中国国交時に持参した「もろはく」というお酒も作っております。最後は、お酒を頂きほろよい気分で解散となりました。

今回参加した奨学生は、日本の文化に触れることができたのではないのでしょうか。皆様、大変お疲れさまでした。

毎年恒例となりました親睦交流会は、出席率もよく参加された皆様より好評をいただいております。



GETS を受講してきました

国際ロータリー第 2560 地区 2014-15 年度
ガバナーエレクト 山本 和則(新潟南 RC)

9月2日・3日の2日間、ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)が東京高輪にて開催されました。日本の34地区のガバナーエレクト(GE)全員が配偶者同伴にて参加いたしました。近年、どこの地区もガバナー選出には苦労しているようで、秋田県の地区では、8月にようやく決定してこのセミナーに参加できたということです。

他地区のGEの略歴も少しずつわかってきて、年齢では82歳から52歳までと幅広く、わたしより上の方が21名、下の方が12名であり、平均の生年は1947年(昭和22年)です。各地区のGEの方はガバナー事務所の電話番号にもこだわりを持っているようです。地区番号と電話番号の下4桁が同じ地区が13ありました。当地区は(025-222-2561)です。宜しくお願い致します。

研修は2日間で19のセッション(配偶者同席が6セッション、別々が13セッション)を受講しました。講師には過去にガバナーを経験した方(パストガバナー)が担当されており大変お世話になりました。当地区からは、渡辺PGが講師として参画されました。講師の話の聞いているだけのセッションは殆んど無く、講師から課題を与えられ、小グループ(課題により2~5名)で討議を行い、その後各グループが発表するというかたちの研修でした。

課題というのは例えば「PETSの計画はどの程度進んでいますか。この会合に取り入れようと考えている画期的なアイデアがありますか。」「地区研修・協議会はどのように実施されていますか。ほかの研修会と合同または統合して行われていますか。」とか、「地区目標をクラブに伝えるため、各委員会委員長やガバナー補佐と、どのように協力できるでしょうか。」「協力しないクラブに対し、地区と協力することのメリットや重要性をどのように伝えますか。」など、本当に気を休めることなど、とても出来ない研修でした。

11月にもう一度東京にて開催され、来年1月の国際協議会へと続いていきます。これらの研修を通して学んだことを2560地区の為、各クラブの為、各ロータリアンの為に生かしていくべく、微力ではありますが精一杯努めていく所存であります。皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。



夏期・一年帰国報告会 & 受入学生オリエンテーション

国際ロータリー第 2560 地区青少年交換委員長
横山 亘（高田東 RC）

さる9月7日（日）に、ANAクラウンプラザホテル新潟にて2014夏期、1年帰国報告会&受入学生オリエンテーションを開催いたしました。出席者は、佐々木ガバナーをはじめ、山本ガバナーエレクト、夏期交換学生3名、1年帰国学生2名、ドイツ、ブラジル、アメリカ、カナダから計5名の受入学生とホストファミリーの皆様と大変大勢の方々からご出席を賜りました。

報告会では、先ず夏季交換学生から派遣先のドイツについての報告を聞きました。1年交換と違い、3週間弱のショートステイですが短いながらも現地での生活を共にすることによって習慣や気質を知り、そして他国の素晴らしい文化や歴史に触れ、日本との違いを大いに感じてきたと話していました。またホストファミリーのホスピタリティーに日本の「おもてなし」すら感じた感動をしておりました。

1年交換学生の報告は、2名の交換学生のブラジルとアメリカでの留学体験でした。渡航後の不安や期待に始まり、現地の家庭や学校生活での苦労や苦心した事や友達や家族、関わる全ての人に支えられ、自分なりの工夫や努力で問題を解決することによって、有意義で価値のある充実した留学生生活を過ごせたと話していました。終わりの友人やホストファミリーとの別れの話では感動で涙が出そうになりました。

この報告会は、単なる感想や思い出を語る場ではありません。委員会では学生達に留学の目的や目標を与えています。自分が留学体験を通してどれだけ成長できたのか、今後の人生にどう活かすのかに気付いて学んで欲しいのです。

帰国後の学生達の目は輝いていました。留学体験を通し、自分一人ではなく家族や友人、周りの人に支えられながらも、目的を達成した彼等には自信と勇気が感じられました。出発前よりも帰国後の彼らは、目に見えて逞しく成長した後が見えます。夏季交換、1年交換学生と今秋受入れた外国の学生には、この貴重な彼らの人生経験が、今後の時代の国際理解や世界平和に繋がるものと確信しています。

最後に全員の派遣学生が、この貴重な機会を与えて下さったロータリアンの皆様に感謝しておりますと話していました。



大學担当者向け米山奨学制度説明会

国際ロータリー第 2560 地区米山記念奨学委員会 奨学生選考委員会
委員長 丹治 芳子（新潟万代RC）

本年度の大学担当者向け米山奨学制度説明会が9月12日、新潟市のチサンホテルで開催されました。この説明会は、大学の担当者に米山記念奨学会の理念や推薦してもらいたい学生についてよく理解していただくために、毎年開催されているものです。本年度も、県内各地から11大学（高専含）、13名の担当者が出席しました。地区米山奨学会からは安藤米山奨学委員長はじめ品田学友会委員長、宇尾野寄付増進委員長、そして選考委員3名の6名の地区役員が出席いたしました。

先ず、安藤委員長からロータリーの歴史と理念について説明があり、何故日本のロータリークラブが米山奨学事業に熱心に取り組んでいるのかを各大学担当者に理解していただきました。

ついで、選考委員長である私の方から

- 1、ロータリーの組織と米山奨学事業について
- 2、今後の選考スケジュールについて
- 3、指定校・推薦枠について
- 4、奨学生の推薦基準について
- 5、奨学生の選考基準と選考会について
- 6、その他米山奨学会の特色と注意事項

の順で約50分話をいたしました。

最も時間を割いて説明したのは米山記念奨学会が求めるのはどのような留学生であるかということです。すなわち米山奨学会が求めるのは単なる貧しい学生の援助ではなく、学業成績が優秀で将来祖国と日本の架け橋になりうる人材であるということです。そして、米山奨学会の特色である「世話クラブ」と「カウンセラー制度」についても時間を割いて説明しました。その後、品田学友会委員長から先般行われた柏崎への奨学生親睦旅行のビデオについて説明があり学友会の活動内容を参加者に理解していただきました。参加者は皆さん熱心にメモを取り、質疑応答の時間にも積極的な発言が目立ちました。米山記念奨学会の理念や活動内容の素晴らしさが県内各地の大学にきちんと認知され、各大学とも優秀な留学生を推薦しようとしていることが大変によく分かりました。

これからの課題は、担当職員だけでなく指導教官にも、米山奨学会の活動をもう少し認知してもらおう努力が必要なのではないかということを感じました。

山本和則ガバナーエレクト事務所開所式

国際ロータリー第 2560 地区 2015-2016 年度地区幹事
角南 邦彦（新潟南 RC）

2014年9月13日（土）山本和則ガバナーエレクト事務所開所式がガバナー、パストガバナー、第2分区ガバナー補佐、コ・ホスト新潟西RC、コ・ホスト新潟万代RCの会長幹事などの皆様47名のご列席のもと執り行われました。

開式後、山本和則ガバナーエレクトより皆様にご挨拶があり、ご参列を戴いた感謝の言葉と、2年間に及ぶ決意を述べさせていただきました。

その後、ご来賓の皆様全員をご紹介させていただき、ガバナー佐々木昌敏様、直前ガバナー山崎堅輔様、パストガバナー鈴木重吉様より心温まるご祝辞を賜りました。そのお言葉にスタッフ一同感謝とともに心引き締まる思いとなりました。次に山本ガバナー年度スタッフ全員を紹介させて頂いた後、開所式閉会の言葉として、私たちスタッフの相談役でもあります、新潟南RC渡辺敏彦パストガバナーよりご参列の方々に御礼のご挨拶を戴きました。

開所式を滞りなく納めることが出来ましたことに対し、ご参列の皆様にご心から感謝する次第です。

次に祝宴の運びとなり、新潟の文化でもあります柳都さんから、縁起の良い祝舞を舞って戴きました。その後乾杯に移り、パストガバナー大島精次様よりご祝辞と乾杯のご発声を戴き祝宴がスタート致しました。

祝宴ではご参列の皆様より心強い応援のお言葉を戴き、スタッフ一同「頑張ろう」という強い決意を持たせて頂きました。宴も盛り上がり、まだまだ心残りではありませんでしたが、中締めをパストガバナー中條耕二様から賜り、開所式を締めさせて戴きました。

山本和則ガバナーエレクト、スタッフ一同、この開所式を機にRI第2560地区が益々隆盛を保つ様に頑張る所存でございますので、皆様のご協力を切にお願い致します。



「アクトの日」報告

国際ロータリー第2560地区 ローターアクト委員会
委員長 高橋 清文（新潟RC）

「アクトの日」は、1984-85年度の、アジア第1・3ゾーン（当時、日本のすべての地区でこの2ゾーンが形成されていました）ローターアクト地区代表者会議において、RACの全国統一事業を行うことを最終目的とし、「各地区で同じ日、同じ時間に何かをやる」として設定されました。これを受けて日本国内では、RACのアクトの「ク」と「ト」にちなんで、9月10日を「アクトの日」としています。「アクトの日」が平日の場合は、その日に近い日曜日に移動して行ないます。活動開始時間も9時10分となっています。

今回、国際ロータリー第2560地区ローターアクトクラブは、9月7日（日）に28名の参加のもと開催されました。開催のねらいとして

- ① インターアクトクラブの方に将来の職業について考えて貰えるよう、アクターが自分の仕事について卓話を行う。
- ② インターアクトとローターアクトの交流を深める為ボウリング・食事会を行う。
- ③ インターアクト卒業予定者にローターアクトへの入会を促す。また入会しやすい環境作りをする。の3点に絞り込みました。

成果として次のようなことが掲げられました。

- ① 今まで行うことがなかった、インターアクトとローターアクトの交流会を無事行うことができた。
- ② 交流会を行った事で、各インターアクトとの新たな繋がりが出来た。
- ③ 不参加となってしまった学校の方々にも、ローターアクトの活動に興味を持ってもらうことができた。
- ④ インター向けの講演内容だったが、アクターも普段は聞くことのない他のアクター仲間の仕事内容を聞くことができ、会員同士の事を分かりあえるいい機会になった。
- ⑤ 参加してくれたアクターの男女比率がおおよそ半々だった。アクターの男女比率は男性が多い傾向にあったが、女性新入会員の増加により男女比率が均等になってきたものと考えられる。

以上のことから課題点を見つけ出し今後の活動に活かして行ければと考えています。

我々ロータリアンは未来を担う青少年すべてに対して少しでも恵まれた環境を与える為、活動し続けようではありませんか。



第5分区 I M開催のご報告

国際ロータリー第2560地区 第5分区ガバナー補佐
南雲 博文（長岡 RC）

日時：平成26年9月6日（土）13：30～17：00

会場：長岡グランドホテル

テーマ：ロータリーの光と影、「行動するなら今でしょ！」

佐々木ガバナー、植木パストガバナー、鈴木パストガバナーお三人のご来賓の方をお迎えし、総勢161名参加し盛大に開催されました。

佐々木ガバナー地区テーマであります、「ロータリーはあなた自身から」、「議論するより進んで行動しよう」を受けまして、テーマを決めさせていただきました。

ロータリーも今、世界的、国内、地区、各クラブに様々な問題、特に存続・維持が最優先課題となってきました。ロータリーとは何か、ロータリーの光と影、光は更に輝かせ、影は排除、変化していかなければなりません。そのことを考えて頂きたくテーマと致しました。

私はロータリーの光の中心は職業奉仕と職業分類だと感じております。

「四つのテスト」を実践し、経営者として、また大きさではなくキラリと光る会社をもって、奉仕する地域の代表の集まりをして、ロータリーの大きな存在価値と考えます。変わるべきところも、問題提起されているところですが、時間も無く詳しいミーティングはできませんでしたが、地区目標の会員純増10%にチャレンジ、目標達成することで間違いなく、大きく変わるのではないのでしょうか。

更に若い世代、女性の会員推進は今後の大きな潮流になってくると思います。そんなことを感じてもらえる、IMだったと思っています。

各クラブの会長から、会員増強とクラブの現況報告をして頂きましたが、各会長も思いは同じで、会員増強で活性化を図りたいとの発表でした。ちなみに8月末、32名目標に対し、12名純増で37.5%です。

すでに目標達成したクラブもありましたが、全クラブ目標は必ず達成すると強い決意の発表で、第5分区は間違いなく変わると確信したところであります。



講演会は、新潟お笑い集団NAMARA代表の江口歩様に「コリ固まった脳みそのほぐし方」をやって頂きました。ユーモアたっぷりの軽快なテンポで皆様の脳みそが柔らかくなりました。新潟県は長寿県のほうですが、医療費も日本で2番目に少ない県だそうです。いかに我慢強いか・・・？

懇親会はジャズで有名な、深田トリオプラスONEの演奏、当ホテルの長岡野菜を盛り込んだおいしいお料理とお酒を堪能し、親睦を深めて頂きました。次年度のIM開催予定の柏崎ロータリーの遠藤会長からの、ご案内のご挨拶で無事終了いたしました。

ご来賓の方をはじめ第5分区の皆様には、ご協力頂きましたことを御礼申し上げますとともに、ホストクラブの長岡ロータリーの皆様にも改めて心から御礼を申し上げまして、ご報告と致します。



第 4 分区 IM 「ポール・ハリスが動いている！」

国際ロータリー第 2560 地区 第 4 分区ガバナー補佐
菊池 渉（三条 RC）

9月20日(土)三条市のシオ・ワールドビップを会場に第4分区IMが開催されました。当日は秋晴れの下、分区内11クラブのロータリアン200名が集い、「ロータリー精神の原点を見直そう」をテーマに、東京ロータリークラブの元会長岡崎由雄氏を講師に、基調講演「ロータリーの生い立ちとその精神」、引き続きパネルディスカッションと大いにロータリーを語り明かしました。

その後盲目の少女の「ピアノリサイタル」。定番の懇親会と続き「手に手つないで」を歌いお開きの充実の5時間でした。

特筆すべきは岡崎氏をご持参くださった秘蔵DVD。その中に何とポール・ハリス氏が来日されロータリアンに大歓迎される姿や米山梅吉氏の講演されている姿が映し出されました。動いているんですよ。ポール・ハリスがですよ。サイレントなのでお声は聞けませんでした。やせ形の背の高いジエントルマンでした。横浜港に下船される姿では御髪が薄いのか帽子をおかぶりでした。彼をお迎えするロータリアンやその家族。御婦人はほとんど和装です。その当時の様子がうかがえました。

またポール・ハリスが東京クラブで講演されている姿に一同感動しました。若いメンバーは「動いている。ポール・ハリスが動いている！」と感嘆の声を上げていました。一方先輩方は若いメンバー以上に感動されておりました。声も出ないくらい、涙ぐんで？おられました。米山梅吉氏もですよ。動いているのです。お名前は何千回もお聞きしているのに、お写真だっただけ見たことがあるのに、動いている姿は又格別でした。

「百聞は一見に如かず」といいますが、「百静止画は一動画に如かず」という新しいことわざが必要なのではとも思いました。

「ロータリーの原点」を確認できた有意義なIMでした。

ホストクラブの三条クラブのメンバーに見送られてお帰りになられる第4分区のロータリアンたちは、みな胸のロータリーバッジに手をやり、バッジを誇りに、「ロータリアンで良かった!」と互いに確認しあったことでした。



第2分区クラブ紹介：新潟南ロータリークラブ 「奉仕と楽しさ・みんな集まれ新潟南クラブ」

国際ロータリー第 2560 地区第 2 分区ガバナー補佐
藤田 普（新潟南 RC）

第 2 分区内では特に会員の拡大傾向が続き、発展著しいと言われる新潟南クラブをご紹介します。

新潟南クラブは現在 93 名の会員数を誇り、この傾向はますます増強されているようです。会員数 100 名の大会乗せと第 2560 地区でのトップの座は間近ということで新潟南クラブメンバー意気軒昂に頑張っております。

当クラブの特徴は会員の退会率が低いことにあります。これはたまたま佐々木ガバナーの会員増強方針に関する手法に合致した良好な状態になっていると感じられます。会員の例会出席率も高く、プログラム委員会の尽力により、友との再会、ふれあいの喜びを得るとともに、とても研修効果の高い例会となっています。

過去に 2 名のガバナーを排出しており、また次年度には 3 人目のガバナー（山本和則ガバナーエレクト）も予定されており、地区のリーダーシップを握るクラブに上るべく士気も大変に高揚いたしております。

奉仕活動も大変盛んであり、ロータリー財団、米山奨学金への寄付も地区トップクラスを誇っております。台湾の台中南屯ロータリークラブと姉妹締結をしている中で 1 年おきに互いを訪問し合い親睦を深め国際友好に大変寄与しております。東日本大震災ではなんと 1 千万円弱にも上る多大な義捐金を送っていただきました。

新潟学園や老人福祉施設「有明ハイツ」への訪問など毎年欠かさず実行しており大変に感謝されております。

クラブ奉仕にかかわる活動が的確に活発に行われており、特に親睦活動が盛んであることは言うまでもないことです。それは若手会員による企画で実施され、とてもエキサイティングに展開されております。最近では音楽にはほとんど縁のなかった爺さんメンバー達によるバンド「サザンオールスターズ」も結成され、写真に紹介のように「懐かしの歌謡曲」でクラブの懇親会を MAX に盛り上げております。

野球部は新潟市内の王座を死守するべく日夜にわたる連係プレイの訓練が会員の団結力を増すのに大いに貢献しております。

以上第 2 分区の新潟南クラブを会員拡大の手法としての展開事例として参考になればとの思いから紹介いたしました。



クラブ紹介：栃尾ロータリークラブ 『完全例会出席者の表彰』

倉茂 眞衛（栃尾 RC）

こんにちは、栃尾ロータリークラブです。

今回は、皆様に嬉しい情報をお伝えいたします。現在22名の会員数ですが、出席率も今一歩伸び悩んでおり、何か明るい話題はないかと考えていたところ、この10年間で“完全例会出席”した会員が2名おりました。“完全例会出席”とは7月1日～翌6月30日までの1年間、クラブ例会すべてに出席したということです。まさに、パーフェクト出席です。

例会日は、毎週火曜日の12時30分からですが、仕事等による欠席はもとより、冠婚葬祭・病気等の欠席でもNGですので、運と神様のみぞ知る偉業だと感じ、表彰することといたしました。蕪沢信栄君は1回、稲田武君は2回も達成しておりました。9月2日の例会時に、ささやかですが表彰状と記念品を贈呈し、会員みんなで祝福いたしました。もちろんお2人は、ニコニコBOXにも忘れずご寄附くださいました。

こういったことが、クラブ活性化につながっていくきっかけになればいいなと思います。



コーディネーターニュース 10月号（2014年9月10日配信）

『ロータリー公共イメージの推進』

国際ロータリー第1ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター
パストガバナー 渡辺 敏彦（新潟南 RC）

2014年9月2日・3日の2日間に渡り、GETS（ガバナーエレクト研修セミナー）が東京で開催されました。1月の国際協議会に備えての事前研修第1弾ということで、ガバナーエレクトの方々は34名、大変有意義で楽しい（？）丸2日間を過ごされた訳であります。その中の2つのセッションで、「公共イメージの向上、推進」が取り上げられています。その内容をかいつまんでご紹介したいと思います。

「ロータリーは意義ある活動を行っているにも関わらず、それが社会に認識されていない！！」という事実から、ロータリーの公共イメージを改善する為に「ロータリー活性化」の取組が始まっています。それは、「リーダーのネットワークへ。アイデアを広げよう。行動しよう。」というロータリーの特徴を簡潔に表現したロータリーのエッセンス。これを土台に、ロータリーを分かりやすく、しかも魅力的にアピールしようとする取り組みであります。

1つ目の大きな柱は、ブランド戦略であります。まずロータリーのロゴが変更されています。2014年1月の国際協議会後に新しく登場したブランドリソースセンターには、ロゴに加えビジュアルアイデンティティのガイドライン、写真・動画等様々な資料や素材が用意されていますので、それを活用し、ブランド戦略を推進頂きたいということです。

2つ目は、「ボイス」の活用であります。それは、ロータリーのボイスの特性である4つの事柄（賢明さ、思いやり、粘り強さ、行動を促す力）を意識して、対外的にはロータリー用語を避けて、出来るだけ簡潔な分かり易い言葉で、語りかけるように、相手に魅力的に聞こえる表現にすることであります。

上記の「ロータリー活性化の取り組み」を推進するため、ロータリー「戦略的優先項目と目標」があり、その実行部隊としてゾーン毎に地域コーディネーターチームが任命されています。

- ・クラブのサポートを強化⇒ロータリーコーディネーター（RC）
 - ・人道的奉仕の重点化を増加⇒ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）
 - ・公共イメージと認知度の向上⇒ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）
- 「ロータリーの公共イメージ」を向上させるため、RPICの役割は大きく2つに分けられます。一つは、各ゾーン毎に地区、クラブ、ロータリアンに対して適宜・適切な情報を伝達することです。「PETS」「地区研修協議会」等がありますので、要請があればそれぞれの場に赴き、「公共イメージの向上」に向けた情報提供を積極的に行わせて頂きます。もう一つは、地区又はクラブの外部（地域社会）に向けた広報活動を効率的、効果的に行う為に必要な情報、方法論を提供することだと認識しております。

地域コーディネーターチームのうち、RPICを下記にご紹介させていただきます。

- 第1ゾーン 2007-08 RID2560 PDG 渡辺敏彦（新潟南）
- 第2ゾーン 2012-13 RID2620 PDG 高野孫左衛門（甲府）
- 第3ゾーン 2011-12 RID2740 PDG 岩永信昭（長崎北東）

新入会員報告

<p>クラブ名：柏崎ロータリークラブ 氏名：井上 乾 職業分類：発電プラント保守工事 スポンサー氏名：</p>	<p>クラブ名：柏崎ロータリークラブ 氏名：長田 悠希 職業分類：弁護士 スポンサー氏名：</p>
<p>クラブ名：柏崎東ロータリークラブ 氏名：大塚 秀一 職業分類：測量業 スポンサー氏名：</p>	<p>クラブ名：柏崎東ロータリークラブ 氏名：水品 篤志 職業分類：菓子製造販売業 スポンサー氏名：</p>
<p>クラブ名：柏崎東ロータリークラブ 氏名：近藤 真大 職業分類：自動車板金塗装 スポンサー氏名：</p>	<p>クラブ名：新津ロータリークラブ 氏名：市川 進一 職業分類：学校教育 スポンサー氏名：飯野 高</p>
<p>クラブ名：新潟ロータリークラブ 氏名：吉弘 堅司 職業分類：商業銀行 スポンサー氏名：若杉 武</p>	<p>クラブ名：新潟ロータリークラブ 氏名：佐藤 厚 職業分類：短期金融 スポンサー氏名：岡村 健吉</p>
<p>クラブ名：新潟ロータリークラブ 氏名：務台 昭彦 職業分類：商業放送 スポンサー氏名：玉 知夫</p>	<p>クラブ名：新潟ロータリークラブ 氏名：堀 盛富 職業分類：総合商社 スポンサー氏名：竹石 松次</p>
<p>クラブ名：新潟東ロータリークラブ 氏名：田淵 展子 職業分類：ライフスタイリングアドバイザー スポンサー氏名：那須野 幸作</p>	<p>クラブ名：新潟東ロータリークラブ 氏名：梅沢 賢介 職業分類：駐車場事業 スポンサー氏名：水本 孝夫</p>
<p>クラブ名：小千谷ロータリークラブ 氏名：宮澤 久雄 職業分類：タイヤ販売 スポンサー氏名：関 暁</p>	<p>クラブ名：白根ロータリークラブ 氏名：金田 由紀子 職業分類：スナック経営 スポンサー氏名：五十嵐 繁</p>
<p>クラブ名：新発田ロータリークラブ 氏名：河合 慎次郎 職業分類：地方銀行 スポンサー氏名：</p>	<p>クラブ名：三条南ロータリークラブ 氏名：丸山 智 職業分類：柔道整復師 スポンサー氏名：</p>

文 庫 通 信 (325号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

古典文献より(2)

- ◎「ロータリー・クラブに就て」 米山梅吉 1929 12p
(ロータリー・クラブ民衆文庫)
- ◎「汎太平洋ロータリー大会に臨みて」 トム・サットン 芝染太郎(解説)
1929 3p (ロータリー・クラブ民衆文庫)
- ◎「ロータリークラブの目的と信條」 村田省蔵 D.70 1934 9p
(ロータリーを語る)
- ◎「ロータリークラブに就て」 坂田幹太 1928 12p
- ◎「国際ロータリーの組織に就いて」 米山梅吉 1931 8p
- ◎「常識の重要性」 米山梅吉 1937 6p (東京ロータリークラブニュース)
- ◎「新ラシキ會員ノ為メニ」 大阪R.C. 1928 43p
- ◎「第七十區ガバナー告辞」 村田省蔵 今治R.C. 1935 13p
(今治ロータリー倶楽部発会式記録)
- ◎「サーヴィス座談會」 京都R.C. 1937 8p
(京都ロータリー倶楽部週報附録)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前 10 時~午後 5 時 休館=土・日・祝祭日

<ロータリー文庫よりお願い>

書籍入手のお問い合わせ、コピーサービスお申し込みは、ロータリー会員のみに限ります。

コピーサービスの申込は、ホームページまたはFAXでお願いします。

FAX 番号：03(3459)7506

なお、お申し込みの際は書名・著者名の他に分類番号を御記入ください。



ハイライトよねやま 174

2014 年 9 月 12 日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 10 月の米山月間に向けて —

8 月までの寄付金は前年同期と比べて 3.4%増(普通寄付金 3.9%増 特別寄付金 2.5%増)、約 980 万円の増加となりました。特に普通寄付金については、例年よりも早くご納入いただいています。多くのロータリアンの方々からのご寄付に厚く感謝申し上げます。

来月 10 月は米山月間です。当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当奨学会への寄付金には所得税、法人税の税制優遇が受けられ、また相続税も非課税となります。さらに普通寄付分もクラブ事務局から会員氏名等のデータをお送りいただければ、申告用領収証を送付いたします。詳細は当会ホームページをご覧ください。よろしくお願いいたします。

理事会・評議員会開催報告 — 役員改選で新理事長就任 —

第八回理事会が 8 月 21 日に、また、第四回定時評議員会が 9 月 5 日に、それぞれ都内ホテルで開催されました。

第八回理事会

議長：板橋敏雄理事長
出席者：理事 27 人 監事 1 人
陪席者 13 人

【主な議題】

理事・監事候補者、2013 年度事業報告および附属明細書承認、2013 年度計算書類承認および監査報告、2014 年度収支予算書一部修正、委員会委員選任、定時評議員会招集、諸規程改定など：承認



第四回評議員会

議長：上野操評議員
出席者：評議員 28 人 常務理事・監事 8 人 陪席者 2 人

【主な議題】

理事・監事の選任、評議員補欠選任、2013 年度計算書類承認および監査報告の件など：承認

また、評議員会での理事選任を受けて、決議の省略による理事会（書面決議）を開催し、以下の役員候補者が承認されました。

理事長：小沢一彦氏 (2780)
副理事長：三井章義氏 (2600)・栗林英雄氏 (2740)
常務理事：武田和夫氏 (2800)・塙 東男氏 (2820)・
市川伊三夫氏 (2750)・若林紀男氏 (2660)
名誉理事長：板橋敏雄氏 (2550)

理事会および評議員会終了後には、それぞれ退任される理事・監事、評議員への感謝状贈呈を行いました。また、両会議において、任期満了で理事長を退く板橋敏雄氏から 7 年間の思いのこもった最後のごあいさつを頂きました。評議員会では、新理事長に就任する小沢一彦氏から板橋敏雄氏に感謝状が贈呈されました。



板橋前理事長(左)と小沢新理事長

ロータリーデー BBQ大会を開催【第 2790 地区学友会】

さわやかな晴天に恵まれた 9 月 6 日、千葉市内の大学を会場に、第 2790 地区（千葉県）米山学友会主催の「ロータリーデー BBQ 2014」が開催されました。

このイベントは、奨学期間が終わると世話クラブとの交流が途絶えてしまう学友が多いため、お世話になったカウンセラーや世話クラブのロータリアンを誘って交流を図ろうとの趣旨で企画されました。同地区米山記念奨学委員会の協力のもと、今年度の黄其光国際ロータリー会長の提唱する「ロータリーデー」の一つとして広く参加を呼びかけたところ、奨学生・学友、ロータリアンがそれぞれ家族や友人を伴って、総勢約 80 人が参加しました。当日は澄み渡る青空の下、BBQを食べながら皆、和気あいあいと語り合い、余興の綱引きや玉入れにも全員が一丸となって挑戦して、笑顔と“良かった”の声があふれていました。

同学友会会長のラジブ・シュレスタさん（ネパール/2004-05/千葉幕張 RC）は、「初めての試みで不安もありましたが、地区米山委員のご指導とご協力、そして学友会理事会の組織力で無事にやり遂げることができました。学友が久しぶりに再会した世話クラブの皆さんと家族のように触れ合う姿を見て、涙が出るほどうれしかった。目的を少しでも達成できて感無量です」と、喜びを語りました。また、同地区米山記念奨学委員会の石田善一委員長は、「参加者の皆さんが喜んでくださったのが何よりもうれしい。一般の方は、今回参加して、ロータリーが留学生を支援し、国際親善に尽力していることを初めて知ったという方も多く、ロータリーの広報にもつながったと思う」と、成果を語りました。同学友会では、今後も取り組みを続けていくとのことです。



NEW!
カラー版です

まもなく米山月間資料がクラブに到着します！

最新の米山月間用資料を全ロータリークラブへお届けします（9 月 22-24 日ごろ到着予定）。クラブ会長およびクラブ米山奨学委員長は必ずお目通しください。ガバナー、評議員、理事、専門委員、地区米山奨学委員長・委員の皆さまにもお送りします。

【米山月間資料】

- ①豆辞典（必ず会員のみなさま全員へ配布してください）
- ②クラブ米山記念奨学委員長の手引き
- ③寄付金マニュアル ④事業報告書 ⑤事業報告書 統計・資料編 ほか



海外米山学友会総会【韓国・台湾】日程のご案内

韓国、台湾の各学友会総会が下記の日程で開催されます。ご都合のつく方はぜひご参加ください。会場・時間については米山記念奨学会事務局にお問い合わせ下さい（連絡先は下記）

- 韓国：2014年11月15日（土） ●台湾：2014年12月13日（土）

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

8 月末会員数および出席報告

第2560地区 2014-15年度 8月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	8月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	3	84.19	352	355	37	3
新発田	3	98.01	89	89	0	0
村上	3	87.50	33	34	7	1
水原	3	75.51	24	24	1	0
中条	3	88.24	34	34	3	0
新発田城南	3	82.20	43	44	7	1
豊栄	4	79.60	26	27	3	1
新発田中央	3	85.13	50	50	5	0
中条胎内	5	80.74	27	27	5	0
村上岩船	3	80.77	26	26	6	0
第2分区(9クラブ)	3	86.30	423	444	18	21
新潟	3	86.83	92	96	0	4
新潟東	5	89.32	55	61	6	6
新潟南	3	87.67	90	93	0	3
佐渡	3	90.00	10	10	0	0
新潟西	3	84.55	32	38	2	6
佐渡南	3	91.53	42	42	4	0
新潟北	4	78.75	40	42	0	2
新潟中央	3	84.72	24	24	0	0
新潟万代	3	83.33	38	38	6	0
第3分区(6クラブ)	3	83.34	131	133	9	2
新津	3	71.68	22	23	1	1
村松	4	80.00	9	9	0	0
五泉	3	86.70	20	20	3	0
白根	3	87.87	43	44	3	1
新津中央	4	78.58	28	28	1	0
阿賀野川ライン	3	95.20	9	9	1	0
第4分区(11クラブ)	3	80.88	363	369	21	6
三条	3	89.04	54	55	0	1
燕	3	63.09	29	30	1	1
加茂	3	81.10	29	30	5	1
三条南	4	89.21	51	51	1	0
分水	4	81.60	31	32	2	1
見附	3	75.00	20	20	1	0
吉田	4	97.60	32	32	1	0
三条北	4	76.85	67	68	3	1
巻	3	100.00	10	10	0	0
田上あじさい	3	52.30	7	7	1	0
三条東	3	83.91	33	34	6	1

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	8月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	3	84.60	299	306	31	7
長岡	3	89.21	42	44	3	2
柏崎	3	82.40	45	48	0	3
長岡東	3	89.70	63	63	7	0
柏崎東	3	90.67	45	47	5	2
栃尾	4	71.26	22	22	0	0
長岡西	3	88.62	43	43	5	0
柏崎中央	3	80.37	39	39	11	0
第6分区(6クラブ)	3	88.69	154	153	7	-1
十日町	3	97.94	33	32	1	-1
小千谷	2	92.64	42	42	3	0
雪国魚沼	3	78.30	23	23	1	0
十日町北	2	97.73	22	22	1	0
津南	4	87.50	24	24	1	0
越後魚沼	4	78.00	10	10	0	0
第7分区(9クラブ)	3	81.65	306	311	26	5
高田	4	97.93	53	59	0	6
直江津	3	81.91	49	49	2	0
新井	3	86.67	29	30	3	1
糸魚川	3	81.88	39	41	3	2
高田東	3	78.38	37	37	3	0
糸魚川中央	4	78.13	33	33	0	0
頸北	3	83.30	15	14	1	-1
越後春日山	3	65.03	51	48	14	-3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,028	人
8月末 会員数	2,071	人
女性会員数	149	人
純増減会員数	43	人
当月平均出席率	83.96	%